

さいたま市長 清水勇人様

沼影市民プールの存続を求める会 代表 河合富美子

沼影市民プールの存続を求める要望書

沼影市民プールは1971年の開設以来、夏は海のない埼玉県で水に親しみ泳ぎを楽しむ場として、冬は市内唯一のアイススケート場として愛され、年間を通じて家族揃って楽しめる貴重なスポーツ施設です。

年間利用者数は合計20万人を超え、利用登録団体も90を超えています。

このように市民に広く利用されていて歴史もある沼影市民プールですが、昨年末に突然、施設廃止の計画が伝えられました。

それは武蔵浦和駅周辺の大里小学校、沼影小学校、内谷中学校を統合・再編して小・中一貫校である義務教育学校にする建設計画が浮上したからです。

しかしこの義務教育学校は生徒数3600人、90学級という巨大規模であり、「大規模校解消のため」とした市教委の説明からも矛盾しており、一人ひとりの子どもを大切する教育理念にも反するものです。

そしてこの義務教育学校建設のために、沼影市民プールのある沼影公園敷地の活用が不可欠だとされており、2024年度からの沼影市民プール取り壊し、廃止が計画されています。

沼影市民プールは市民要望にもとづき、2021年に1億3千万円もの市民の貴重な税金を投入して、長寿命化を目的に施設の改修を行ったばかりです。

突然に浮上した義務教育学校建設計画のために、沼影市民プールを廃止する計画を見直すことを、さいたま市に強く求めます。

要望項目

沼影市民プールを廃止する計画は見直して、現施設を存続させてください。

氏名	住所

取り扱い団体：住みよいまちづくり連絡会 / 南区西・住みよいまちをつくろう会

*署名はFaxでも有効です。Fax：048-881-2497